

専任教員の教育・研究業績

所属	職名	氏名	大学院における研究指導担当資格の有無	有	
スポーツ科学部		教授	曾根純也		
Ⅰ 教育活動					
教育実践上の主な業績		年月日（期間）	概 要		
1 教育内容・方法の工夫（授業評価等を含む）					
運動学		2009年から現在	講義形式で実施。大学内の「授業アンケート」を毎回実施		
サッカー実技		2007年から現在	大学内における「授業に関するアンケート」を毎回実施		
2 作成した教科書、教材、参考書					
スポーツ運動学 講義テキスト（改訂判を含めて）		2009～2011, 2012～2016, 2017～	2017年度より全テキスト執筆		
運動学特論 講義テキスト		2014～	2014年度より全テキスト執筆		
教員免許状更新講習		2011～2013	球技（ゴール型）におけるサッカー競技を分担執筆		
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等					
大阪府公認リーダー講習会		2018年7月14日	リーダー講習において「指導者の役割」「倫理」などを担当講義		
大阪体育学会		2018年1月28日	運動学領域における研究手法		
日本スポーツ運動学会		2016年3月27日	サッカー指導における運動学的視座の重要性		
4 その他教育活動上特記すべき事項					
堺市いわき市震災復興支援プロジェクト		2018年8月5日	いわき・堺DREAMキャンプ（J-Green堺でサッカー交流）		
Ⅱ 研究活動					
著書（共著・分担執筆）					
題目／書名	著者／編者	初（始）頁～終頁	発行所	発行地	発行年月
楽しい体育・スポーツ	木下英俊, 進藤省次郎, 曾根純也ほか / 石田智巳	p60-p63	学校体育研究同志会	創文企画	2022年7月
コツとカンの運動学-技を身につける実践理論-	渡邊伸, 神家一成, 岡端隆, 佐野淳, 金子一秀, 木下英俊, 上原三十三, 中村剛, 川口鉄二, 佐藤誠, 渡辺良夫, 佐藤靖, 小海隆樹, 田口晴康, 石塚浩, 曾根純也, 佐伯聡史, 三輪佳見, 岸本真	p92-p97, p134-p135	日本スポーツ運動学会	大修館書店	2018年6月
論文（審査機関を有する学術誌に掲載の論文に限る。学会抄録等は含めない。）					
題名	著者	誌名	巻	初（始）頁～終頁	発行年月
Eine Phänomenologische Studie zur Sporterziehung als WertschSchönpfung an den Beispielen Judo, Ringen und Kampfen im Krieg	Junya SONE	Journal of Martial Arts Research	Band Nr.	seit調整中	2024年7月
サッカーのゲーム発達様相における発生運動学的考察	石居宣子, 梅垣明美, 曾根純也	日本スポーツ運動学会	第34号	p105-p118	2021年12月
Background and Prospect on the Promotion of Japan's Economic Benefits by 2020 Tokyo Olympic Games	GUO Wei, UMEBAYASHI Kaoru, SONE Junya	Journal of Beijing Sport University	Vol. 43 No. 4	p40-p50	2020年4月
Enlightenment of Japanese Sports Value Turning to China under the Background of Aging Society	GUO Wei, QIN Ziting, SONE Junya	Journal of Chengdu Sport University	Vol. 45 No. 5	p73-p79	2019年12月
The Enlightenment of Kyoto Marathon on the Development of Xian Marathon under the Same City Cluture Background Condition	GUO Wei, SONE Junya, QIN Zixin, XU Zhiping	Journal of XI'AN PhysicalEducation University	Vol. 36 No. 6	p690-p693	2019年11月
サッカーにおける動感身体知の修正指導に関する現象学的研究	稲垣就斗, 曾根純也	日本スポーツ運動学会	第32号	p63-p78	2019年12月
Axiologische Betrachtung von Kampfsporttraining	Junya SONE	Journal of Martial Arts Research	Band2 Nr. 2	p1-p7	2018年7月
サッカーにおけるパス受け手の身体知促発指導に関する発生運動学的考察	曾根純也	日本スポーツ運動学会	第30号	p33-p48	2018年3月
総説					
題名	著者	誌名	巻	初（始）頁～終頁	発行年月
スポーツ指導における価値論的考察	曾根純也	大阪体育大学紀要	第47巻	p1～p17	2016年3月
Juristihe Aspekte koerperlicher Zichtigung	曾根純也	大阪体育大学紀要	第45巻	p65～p76	2014年3月

学会発表（「国際学会」、「国内学会（一般演題、シンポジウム、課題研究、講演等）」、「研究会」等区分を記入）							
区分	年月	学会名	演題名	場所	発表者名		
国際	2025年9月	the dvs Congress 2025 in Münster under the motto 'Diversity and Sustainability in Sports Science ?!'!	Empowerment of women with the aim of a sustainable society: “The spirit of leave no one behind”	University of Münster	Junya SONE		
国際	2024年3月	Psychologie in Kampfkunst und Kampfsport 2024	Eine Phänomenologische Studie zur Sporterziehung als Wertschöpfung an den Beispielen Judo, Ringen und Kampfen im Krieg	Bayreuth University	Junya SONE		
国際	2017年9月	6. Internationales Symposium „Kampfkunst und Kampfsport in Forschung und Lehre 2017	BETRACHTUNG VON KAMPFSPORT-TRAINING	Lüneburug University	Junya SONE		
国内(シンポ)	2016年3月	第29回日本スポーツ運動学会	サッカー指導における運動学的視座の重要性	東京女子体育大学	曾根純也		
国際	2014年9月	第8回日独スポーツ科学会議	Eine Studie über die rechtliche Perspektive der Körperlichen Züchtigung-Vergleich von Japan und Deutschland	慶應大学	曾根純也		
科学研究費等の取得状況							
科学研究費／その他の助成金／外部資金							
区分	種類	題目	代表・分担の別	期間	助成額（期間内の総額）		
選択			選択				
特許							
特許名称		発明者／出願人	出願日／出願番号	公開番号	取得した場合 ⇒	公告・特許番号	国
Ⅲ 加入学会および社会における活動							
期 間		内 容					
加入学会							
令和年5月～		日本現象学会					
平成29年4月～令和2年3月		日本コーチング学会理事					
平成29年4月～		日本スポーツ運動学会理事・編集委員					
平成29年2月～		dvz会員 (Deutsche Vereinigung fuer Sportwissenschaft)Mitglieder					
社会的活動							
平成26年3月～平成27年3月		日本コーチング学会第26回・日本体育学会体育方法専門領域研究会第8回 事務局長					
Ⅳ 管理活動							
期 間		内 容					
委員会活動							
令和6年4月～令和7年3月		スポーツ科学部スポーツ科学科長					
令和5年4月～令和7年3月		大学院スポーツ科学研究科 副研究科長					
令和4年～令和6年3月		体育学部スポーツ教育学科長					
平成27年4月～		国際交流委員会					
特別プロジェクト活動							
平成25年4月～平成26年3月		特色あるプロジェクト「競技力向上を目指したスポーツ実践とスポーツ医・科学の融合」					